

東の方角や太陽の方角を指言葉は語源をたどると orient (オリエント) が使われており、そこから現代では動詞で、「正しい位置に置く」「方向付ける」という使われ方をします。

同じ語源で、今では古臭くなりましたが、「東洋の」と言った意味にもなっています。

また企業などが行う説明会の「オリエンテーション (orientation)」や、小学校などで行ったハイキングの「オリエンテーリング (Orienteering)」も仲間です。

会堂建築に際して、敷地にゆとりがあれば、会堂は東に玄関を設け、西へ進んで礼拝堂中心、最奥部に達します。朝の光が玄関方向から射して来て、奥のほう、祭壇・講壇に達する、と想像してください。これは、イスラエルが神殿建築をする時、そのように指示されたことに基づいています。

天地創造の神は東の方に、エデンの園を設け、そこに初めの人を置かれました。

神との約束を破り、罪を知ったアダムとエヴァは、エデンの園から追い出されます。神は、命の木に至る道を守るため園の東に、ケルビムと、剣の炎を置かれます。

「東の方」は、どこを基準にするのでしょうか。あまり明瞭になってはいません。最初に人を造り、置かれた場所だろう、といわれます。色々な主張があるようです。旧約聖書の舞台になっている土地は、バイブル・ランドと呼ばれます。中でも、黒海とカスピ海に挟まれた地方、その南部アララテ山の頂上から山ろく一帯の平原は、アルメニアと呼ばれ、古来美しく、肥沃で最初の地にふさわしいといわれて来ました。また、イスラエルの北部のシリア領は大変美しく豊かな土地で、ここが創始の地、と主張されます。いずれも現地の人たちの考えです。

この地方は、ノアの箱舟が到着したところ、2010年、2015年にはその遺物発見のニュースが流されました。この辺を出発点として、被造者たちは次第に東へと追われて行きます。